

2023年8月24日

## 【緊急声明】

# ALPS処理水の海洋放出に断固反対します

神奈川ネットワーク運動・青葉

このたび政府は、福島第一原子力発電所の冷却水及び、地下水・雨水を含む「汚染水」をALPSによって多核種除去処理されたいわゆる「処理水」として、24日に海に放出すると発表しました。

おおぜいの漁業関係者の懸念や、国内外からの不安の声への十分な説明や合意形成の努力を行うことなく決定したことに強く抗議をします。

今年度放出予定量はタンク30基約3万トンにもものぼります。「処理水」には、処理ができないトリチウムやストロンチウムなど放射性物質が含まれており、数十年に渡り放出された際の影響は、未知数です。トリチウム等の内部被曝の影響は、未だ解明されておらず、漁業のみならず、人体や生態系へのダメージも懸念されており、例え、丁寧なモニタリングを行っても、放出された水への対応は不可能です。廃炉の見通しも立たないままに、放出を進めれば、いつ終わるともわからない汚染を私たちは続けることとなります。

2011年を境に私たちは立ち止まり、反省に立ち、私たちは、あらためて原発に依存したエネルギー政策を見直すことを訴えてきました。しかし、事故後たった12年での原発回帰ともいえる現政権の方向性は、事故を忘れ、被災した人と土地を無視した行為です。その上、事後処理によって生まれた汚染水を放出するという更に自然界を汚す行為に、私たちは断固反対します。自然と人の未来を見据えた政策転換を引き続き求めます。